

恩師、安積75期生、同窓生へ 発行部数 三百十部、老後の生き方を真剣に問い掛ける豆新聞 住所変更をう連絡。

七五期

葉書きの同級会

▼もうだいぶ昔の事。橋本邦夫⑥ブリッジ語学センターは小学生の可愛い娘をつけて私の旅館を訪問した。奥様が無くなって2年になると。仕事は順調だがなんととも母親がいない娘が不憫でならないとの事だった▼先日上京した合間をぬって彼に会った。娘は高校3年、来年は奥様の13周年の事、もうあれから10年もたったのか。仕事は東京駅八重洲口のご真ん中で外国

語学校をやっている。顧客は近隣の超一流企業の急遽海外派遣になる駐在員の為の語学訓練である。2月位勤務時間から抜出して来てレッスンを受けさせる。もともと優秀な大企業の大卒だし中学から大学まで10年も英語の基礎の勉強はしているのだからなんとか話せる程度にすぐなると言う。後は英語で考え話す度胸を付けさせてやれば良い。▼日本に居ながらも外国人と接する機会の多い彼の考えは示唆に富む。日本は日本の基準で物を考えるから世界からジャパンバッシング

に合うのだと言う。ちょうどアメリカの大リーグから日本に派遣された審判が日本での審判の權威の低さに驚き帰国した後だった。中日の星野監督の言訳は『アメリカのベースボールと日本の野球は違う』この様にグローバルスタンダードが通用しないのが日本▼会議の持ち方も違う。日本では会議上で上司に意見を言う部下なんていない。そんなことしたら『生意気だ!』の一言で片付けられる。だから日本の企業で革新的な意見が上がって来る事はまずない。『その考えは間違

っている、おかしいのではないか』なんて絶対言う事も出来ない。だから、野村や第一勧銀があのようになってしまう。比較して米国は立場は立場、意見は意見と割り切っているから、上司の提案にも部下がビシバシ言う事が当然だし、そこに活性化が生まれるのだと言う。▼新しい奥さん貰う予定無いか聞いたら『昔は景気が良くてかみさんの誕生日プレゼントに外車を買ってやった事もあった。今は愚痴をこぼす相手がいなくて寂しいと思うが、まだ妻への想いを捨て切れないよ』

無責任編集発行 郡山市熱海町熱海4の39 村田英男 FAX0249-84-2131 求む、近況報告